

ICT導入による授業および校務の効率化について

北海道鹿追高等学校

(取組のポイント)

ICTの日常的な活用による授業改善や、校務の情報化の推進が求められていることから、オンラインを活用した協働的な授業のデザイン及びその実施や、紙による配付資料の削減などによる校務の効率化に向けて、校内体制を見直すなど組織的な活用が図られることを目指した取組

取組に当たっての課題意識

- 生徒及び職員のデジタルディバイド（情報格差）の解消
- 配布物の電子化による資源節約と効率化

具体の取組例	事業との関連等
<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内組織について <ul style="list-style-type: none"> ・従来の情報処理委員会に加え、総務部内に広報・ICT課を新設し、より多目的な業務を担当した。 【組織体制】・情報処理委員長、各学年情報処理委員 ・総務部長、広報ICT課長、担当者 ○ 生徒全員にiPadの貸与 <ul style="list-style-type: none"> ・鹿追町の支援により生徒全員がiPadを所持。ソフトや性能による格差がなく、同一のICT機器を利用した授業が実施可能となる。 ○ 職員会議資料をすべてPDF化 <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークドライブから各自の端末にコピーして閲覧。PDF作成やPDFへ追記する場合もフリーソフト（PDF Exchangerなど）で対応することで、資料に係る費用がかからなくなった。 ○ Google Classroom、Zoomの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が猛威を奮い始める令和2年2月より導入開始。春季休業期間から課題配信、事務連絡の送付、授業の実施が可能となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・十勝教育局によるICT活用による授業改善プロジェクトへの参加 ・道教委による小・中・高等学校英語教育支援事業における、ICTを活用した英語授業の実際に関する研究発表

課題解決に向けたプロセス

取組の成果

- 印刷物が減り、資源節約、省スペース化が促進された。
- 各種連絡をGoogle Classroomで行うことができ、緊急時の対応がスムーズになった。